



## 平成 18 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 18 年 10 月 30 日

上場会社名 日本精蠟株式会社

(コード番号: 5010 東証 2 部)

(URL <http://www.seiro.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡口 勝彦

問合せ先責任者 役職名 取締役 氏名 井上 寛 TEL (03) 3523-3530

### 1. 四半期財務情報の作成に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。

- ② 最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 有

(固定資産の減損に係る会計基準)

当期より「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成 14 年 8 月 9 日)) 及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 6 号平成 15 年 10 月 31 日) を適用しております。これにより、税引前四半期純利益は 118 百万円減少しております。

(修繕引当金)

製造設備の定期修繕に要する支出については、従来、支出時に費用計上しておりましたが、定期修繕に要する支出見込額のうち、当期に対応する費用を修繕引当金として計上することに変更いたしました。この変更は、次回の定期修繕を要する期間までの稼働期間に対応した費用按分を行うことにより、期間損益の更なる適正化及び財務状況の健全化を図ることを目的として行ったものであります。この結果、従来の方法によった場合に比べ、営業利益及び経常利益は 63 百万円増加し、税引前四半期純利益は 97 百万円減少しております。

### 2. 平成 18 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

#### (1) 経営成績進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 18 年 12 月期第 3 四半期	28,903	34.4	1,912	△2.6	1,688	△3.8	822	△52.7
平成 17 年 12 月期第 3 四半期	21,511	3.4	1,962	-	1,754	-	1,739	-
(参考)平成 17 年 12 月期	30,762	5.9	2,751	51.5	2,458	62.8	2,133	56.6

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整 後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
平成 18 年 12 月期第 3 四半期	36	75	-	-
平成 17 年 12 月期第 3 四半期	77	69	-	-
(参考)平成 17 年 12 月期	94	58	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期(平成 18 年 1 月～9 月)のわが国経済は、上期に引き続き堅調に推移しました。一方、原油相場は年初から一貫して上昇を続けた WTI 原油価格が 7 月に 78.40 ドル/バレルの史上最高値を記録後、イラン核開発問題の一時的沈静化や米国景気後退懸念による先物市場の調整等から 8 月中旬を境に一転反落を続け 9 月に一時 59.25 ドル/バレルをつけ、その後は 60 ドル/バレル前半で推移しました。

このような状況の中で、新・中期経営計画の基本方針に沿って具体的課題に取り組むとともに、ワックス製品の価

格是正や重油の採算販売に引続き注力してきました。この結果、ワックスの製品値上げは国内向けの一部に決着の遅れがあったもののほぼ予定通り浸透し、また、重油販売は需要の盛り上がりに欠けたものの値崩れまでには至らず上期に引き続き収益に寄与いたしました。

これにより、当第3四半期の実績は前年同期に比較して売上高では7,392百万円増の28,903百万円、経常利益では65百万円減の1,688百万円となりました。一方、四半期純利益では上期に固定資産の減損会計適用及び会計処理の変更による過年度分修繕費を特別損失に計上したことおよび前期末で繰越損失を一掃したことによる法人税等の負担により、916百万円減の822百万円の実績となりました。

なお、中間配当につきましては1株につき2円50銭を実施いたしました。

## (2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年12月期第3四半期	30,345	8,066	26.6	360 22
平成17年12月期第3四半期	29,662	7,076	23.9	316 03
(参考)平成17年12月期	27,946	7,496	26.8	334 09

## 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年12月期第3四半期	980	△522	1,279	3,546
平成17年12月期第3四半期	858	△380	1,303	3,901
(参考)平成17年12月期	1,655	△518	△1,447	1,809

### [財政状態の変動状況に関する定性的情報]

当第3四半期における総資産は、30,345百万円、負債合計は22,279百万円、純資産合計は8,066百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期に比較して1,736百万円増加し、当第3四半期末残高は3,546百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、980百万円となりました。これは主として、税引前第3四半期純利益1,393百万円、売上債権の増加額904百万円、たな卸資産の減少額362百万円、仕入債務の減少額254百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、522百万円となりました。これは、徳山工場の設備投資額522百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,279百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済額1,671百万円、長期借入金の借入額795百万円、短期借入金の純増額2,343百万円によるものであります。

3. 平成18年12月期の業績予想（平成18年1月1日～平成18年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回修正予想 (A)	39,150	2,280	1,165
前回発表予想 (B)	40,367	1,485	705
増減額 (A - B)	△1,217	795	460
増減率 (%)	△3.0	53.5	65.2

(参考) 1株当たり予想当期純利益 52 円 03 銭

[業績予想に関する定性的情報]

通期の業績予想につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高では前回予想をやや下回ったものの、経常利益及び当期純利益では大幅に上回る見込みとなりましたので、上方修正いたします。

ただし、上記の通期業績見通しは現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因により予想値と大きく異なることがあります。

添付資料

- (要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 株主資本等変動計算書
- (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

## 1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成17年12月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)						
I. 流 動 資 産		15,918	14,946	972	6.5	13,418
現金及び預金		3,546	4,078	△ 531	△ 13.0	1,809
受取手形		368	315	53	16.8	384
売掛金		4,926	3,889	1,037	26.7	4,005
たな卸資産		6,402	6,068	334	5.5	6,765
その他		678	598	79	13.3	457
貸倒引当金		△4	△3	△0	27.0	△4
II. 固 定 資 産		14,426	14,716	△ 289	△ 2.0	14,528
有形固定資産		13,682	13,780	△ 97	△ 0.7	13,742
無形固定資産		17	21	△ 4	△ 19.7	22
投資その他の資産		726	914	△ 187	△ 20.5	763
資 産 合 計		30,345	29,662	682	2.3	27,946
(負債の部)						
I. 流 動 負 債		15,142	14,179	963	6.8	12,281
支払手形		614	951	△ 336	△ 35.4	315
買掛金		2,066	1,539	526	34.2	2,620
短期借入金		8,353	8,571	△ 217	△ 2.5	6,010
一年内返済予定長期借入金		2,119	2,201	△ 81	△ 3.7	2,207
一年内償還予定社債		200	-	200	-	-
賞与引当金		83	71	12	16.9	31
修繕引当金		100	-	100	-	-
その他		1,604	843	760	90.1	1,096
II. 固 定 負 債		7,136	8,406	△ 1,269	△ 15.1	8,168
社 債		-	200	△ 200	-	200
長期借入金		3,426	4,409	△ 983	△ 22.3	4,214
再評価に係る繰延税金負債		3,490	3,528	△ 38	△ 1.1	3,528
退職給付引当金		171	267	△ 95	△ 35.7	156
その他		47	-	47	-	68
負 債 合 計		22,279	22,585	△ 306	△ 1.4	20,450

科 目	期 別	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
		(平成18年12月期 第3四半期)	(平成17年12月期 第3四半期)	金 額	増減率	平成17年12月期 金 額
(資本の部)						
I. 資 本 金	-	1,120	△ 1,120	-	1,120	
II. 資 本 剰 余 金	-	14	△ 14	-	14	
資 本 準 備 金	-	14	△ 14	-	14	
III. 利 益 剰 余 金	-	660	△ 660	-	1,053	
利 益 準 備 金	-	208	△ 208	-	208	
任 意 積 立 金	-	107	△ 107	-	107	
四半期(当期)未処分利益	-	344	△ 344	-	737	
IV. 土 地 再 評 価 差 額 金	-	5,197	△ 5,197	-	5,197	
V. そ の 他 有 価 証 券 差 額 金	-	87	△ 87	-	114	
VI. 自 己 株 式	-	△1	1	-	△2	
資 本 合 計	-	7,076	△ 7,076	-	7,496	
負 債 ・ 資 本 合 計	-	29,662	△ 29,662	-	27,946	
(純資産の部)						
I. 株 主 資 本	2,842	-	2,842	-	-	
資 本 金	1,120	-	1,120	-	-	
資 本 剰 余 金	14	-	14	-	-	
利 益 剰 余 金	1,711	-	1,711	-	-	
自 己 株 式	△2	-	△ 2	-	-	
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 等	5,223	-	5,223	-	-	
その他有価証券評価差額金	93	-	93	-	-	
土 地 再 評 価 差 額 金	5,130	-	5,130	-	-	
純 資 産 合 計	8,066	-	8,066	-	-	
負 債 ・ 純 資 産 合 計	30,345	-	30,345	-	-	

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
		(平成18年12月期 第3四半期)	(平成17年12月期 第3四半期)	金 額	増減率	平成17年12月期 金 額
I. 売 上 高		28,903	21,511	7,392	34.4	30,762
II. 売 上 原 価		25,089	17,810	7,279	40.9	25,675
売上総利益		3,813	3,701	112	3.1	5,087
III. 販売費及び一般管理費		1,901	1,738	163	9.4	2,335
営業利益		1,912	1,962	△ 50	△ 2.6	2,751
IV. 営業外収益		71	63	8	13.0	84
V. 営業外費用		295	271	23	8.8	376
経常利益		1,688	1,754	△ 65	△ 3.8	2,458
VI. 特別損失		294	7	287	4,097.2	84
税引前四半期(当期)純利益		1,393	1,747	△ 353	△ 20.3	2,374
税金費用		570	7	563	7,644.9	240
四半期(当期)純利益		822	1,739	△ 916	△ 52.7	2,133

### 3. (要約) 株主資本等変動計算書

当四半期（平成 18 年 1 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 17 年 12 月 31 日残高	1,120	14	1,053	△2	2,184
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△212		△212
役員賞与			△15		△15
四半期純利益			822		822
自己株式の取得				△0	△0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額			62		62
当四半期の変動額	-	-	657	△0	657
平成 18 年 9 月 30 日残高	1,120	14	1,711	△2	2,842

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成 17 年 12 月 31 日残高	114	5,197	5,311	7,496
当四半期の変動額				
剰余金の配当				△212
役員賞与				△15
四半期純利益				822
自己株式の取得				△0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額				62
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額	△20	△67	△88	△88
当四半期の変動額	△20	△67	△88	569
平成 18 年 9 月 30 日残高	93	5,130	5,223	8,066

4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	(参考) 平成17年12月期
		金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期(当期)純利益		1,393	1,747	2,374
修繕引当金の増加額		100	-	-
売上債権の増加額		△ 904	△ 100	△ 286
たな卸資産の増減額		362	△ 1,598	△ 2,295
利息の支払額		△ 258	△ 259	△ 347
その他の		287	1,070	2,211
営業活動によるキャッシュ・フロー		980	858	1,655
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形・無形固定資産の取得による支出		△ 522	△ 380	△ 695
その他の		△ 0	0	177
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 522	△ 380	△ 518
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		2,343	1,958	△ 601
長期借入金の純減額		△ 876	△ 654	△ 843
その他の		△ 187	△ 1	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,279	1,303	△ 1,447
IV. 現金及び現金同等物の換算差額		-	-	0
V. 現金及び現金同等物の増減額		1,736	1,781	△ 309
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		1,809	2,119	2,119
VII. 現金及び現金同等物の 四半期(期末)残高		3,546	3,901	1,809